



NO.002

FAS通信

平成15年6月号

株式会社福地建装

上磯町中野通321番地

TEL0138-73-5558

東北地方でおきた地震の影響は？

5月26日夕方、宮城県沖で震度6の地震が発生し、宮城県・岩手県を中心に東北地方が大きな打撃を受けました。28日に消防庁より発表された報告によりますと、地震の負傷者は、重傷12人を含む145人にまで上ったとのこと。負傷者が最も多かったのは岩手県で70人（うち重傷4人）、次いで宮城県58人（同4人）、山形県10人、秋田県6人（同4人）、青森県1人。建物の一部損壊は計366棟で、宮城県の237棟が最も多く、福島県65棟、岩手県63棟、山形県1棟と発表されました。

震源地に近い、仙台市の宮城県図書館では、書架の本棚が崩れ落ち、27日から臨時休館し、開館のメドも立っていないそうです。

北海道にあるFAS本部では、地震のあった翌日から被害の多かった岩手県・宮城県の加盟店やFASユーザー様の状況を確認したところ、一部損壊が366棟にも上った地震に見舞われながら、FASユーザー様宅やFAS住宅展示場では、被害がなかった事を確認できました。

平成5年に発生した北海道南西沖地震の際にも、FAS本部・本社事務所では、書棚が倒れ、クロスもゆがみ、壁に亀裂が入るくらいの被害に遭いましたが、地元函館近郊のFASユーザー様宅には、大きな被害は無かったと聞いております。

これは土台下に発泡された「エアライト」がスポンジのような役割を果たし、地震力を吸収（緩和）するという、FAS工法独特の効果が、大きな被害につながらなかった結果と考えられます。

しかし、「ファースの家」が地震に強いと言うことは証明されましたが、万が一のために防災の準備と心構えは必要ですね。



「ファースの家」の真実

現在「ファースの家」は、全国の着工実績が約1,500棟となり、たくさんのFASユーザー様から、住んでからの感想をお聞かせいただいております。その中から、いくつかの声をご紹介いたします。全て真実です！！

【タイトル】『ファースの家はうそつき？』

長野県の加盟店さんが見込みのお客様を連れて、「ファースの家」にお住まいのOB施主様宅を訪れた時の事です。

開口一番、お施主様が「ファースの家の欠点はウソをつかないといけない」と話始めましたの事。加盟店さんも驚き、おそろおそろ理由を聞くと、ご近所さんと集まった時の話で、「昨夜は熱くて寝苦しかったねー」や「今朝は起きるのが辛かったわねー」という会話の時、心の中では「ウチはFASだからそんなことはないわ！」と言いたくても、嫌味になってしまうので「そうよねー」とウソをつかなければならない事が辛いそうです。

この言葉を聞いた見込みのお客様は、帰りの道中で「FASに決めたわ！」と加盟店さんに告げたそうです。

【タイトル】『世にも不思議なファースの家』

ある日、ご近所の仲の良いおばあちゃんが家に遊びに来てくれたそうです。来るときは歩くのも辛そうに杖をついてやってきました。しかし、2～3時間後、お茶のみ話も終わり帰ろうとした時、スクッと立ち上がり、杖も忘れて、スタスタと元気に帰ったそうです。お施主様は「ファースの家って不思議な家ですね」とお話しておりました。これもFAS効果？・・・。